

東京国体 2013 報告書

田中 敬子

成年女子 6位 (1時間 11分 07秒)

2010年の千葉国体以来の国体レース。個人で参加するレースとは違い、国体独特の雰囲気があり、県を代表して参加してくる選手はそれぞれに色んな思いを持って出場し、全力を尽くす。

私は福岡県代表として走らせていただいたことに本当に感謝の気持ちでいっぱいです。トライアスロンを始めたと同時に沖縄に拠点を移し、福岡で活動していないにも関わらず、今もこうやって福岡の皆さんに支えられ、応援していただけることが何よりの力になっています。

今回この東京国体では、福岡の皆さんへの感謝の気持ちを走りでも恩返しできたらという思いでスタートラインに立ちました。

今回のレースは悪天候により、スタート時間の大幅な変更やスプリントディスタンスに変更等いろいろとありましたが、落ち着いて対処でき、万全の状態ですべてスタート出来ました。レース展開はスイムでは予想以上に良い位置でスイムアップ出来ました。しかし、トランジットとバイク乗りはじめで集団を逃してしまい、バイクでも思うようなペースアップが出来ずにランパートへと移りました。ランでも思うような追い上げとはなりませんでしたが、最後まで集中し、全力を出し切ることが出来ました。

私自身、今シーズンよりロングディスタンスへの挑戦をしており、1年ぶりのショートディスタンス、ドラフティングレースでした。やはり、思うようにスピード勝負のレースには対応出来ていなくて、苦しいレース展開でしたが、今後ロングで世界と戦っていくにはスピードもとても大切だということをこのレースで実感することが出来ました。

ロングディスタンスをやっていく上で、今回のレースは私にとって最高の経験となりました。

結果は6位と満足していただけるような結果でなかったことに対しては悔しい思いと、やはり勝ちたいという思いが湧いてきています。来年の国体レースでは、男女アベック優勝を目指して県を上げて頑張っていきたいと思っています。

最後になりましたが、この東京国体に向けてサポートして下さった皆様、本当にありがとうございました。